

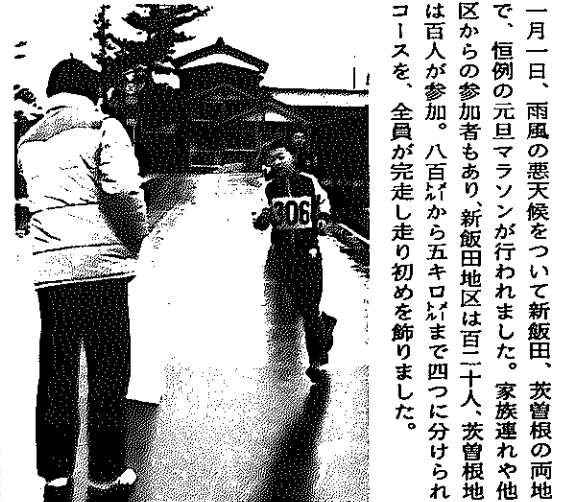
# 新春に 駆ける

新飯田・茨曾根地区で元旦マラソン



▲5キロコースがスタート (茨曾根)

▼折り返し地点 (新飯田)



一月一日、雨風の悪天候をつけて新飯田、茨曾根の両地区で、恒例の元旦マラソンが行われました。家族連れや他地区からの参加者もあり、新飯田地区は百二十人、茨曾根地区は百人が参加。八百メートルから五キロまで四つに分けられたコースを、全員が完走し走り初めを飾りました。



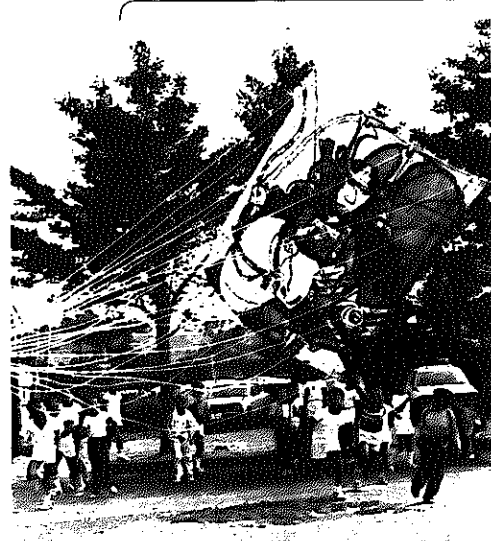
庄瀬青年学級バレー部の仲間たちに囲まれる吉田さん(中央)

## 改めて知った白根市の良さ

青年国内研修に参加した  
吉田益朗さん(21歳・庄瀬)

「自分たちの活動を、一歩外へ出て見ることができ、改めて私たち白根市の青年が恵まれた環境にあることがわかりましたよ。とてもよい研修でした」と青年教育センターの主催する青年国内研修に参加した吉田さん。青年活動リーダーが、県外の青年と交歓を深めながら、生き

た体験学習をする、というこの研修に参加したのは、女性三人を含む十三人の青年たち。十二月五日、マイクログラスで一路東京へ。日本青年館に着いた一行は、館内見学の後、千代田区サークル協議会の代表三人と交歓会、「三人とも千代田区で活動する地方出身者。それぞれ活動する上で、いろいろな悩みや苦労がある。自分たちの活動に生かせるものが多くありました。こんな素晴らしい研修ですから、もっと多くの青年たちから参加して欲しいですね」と、青年学級に入学して一年、学級の広報を担当し、ますます張り切る吉田さんです。



9月に行われた馬あげ大会

## 市史よもやま話

### 茨曾根支配(上)

茨曾根地区が新飯田から村上へと、支配が変る経緯については「中蒲原郡誌」と「新飯田市史」の二説がある。それに今回の検討を加えると表のようになります。

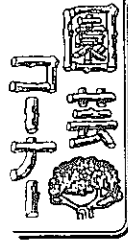
最古の茨曾根の絵図はいわゆる正保園絵図で、二種があり、先の二説を生む主要因らしい。問題を解くに当たって、慶長時代の茨曾根村は二ツ興野・清水興野・萱場村および各々の枝郷をミラミッド型に統括していたと考へるとうまく説明がつく。しかし、この仮定が史的に承認

されるかどうかは別だが……元和六年までは茨曾根村他三村は新飯田領だったが、同年に分割統治の変革があった。茨曾根家文書に茨曾根村の所属関係を示す次の文書がある。伯耆様以御意足まいの儀 御百姓五人二付 年中二五人ツ、小百姓まわき共遣可申候 為後日何事も先之通知此候也 元和六年 湯浅角左衛門 正 林 茂兵衛 吉正 村手守衛門 重利花押

右は溝口伯耆守が関根氏に対し夫役徴達などを許したもので、新飯田領たることを明示。この文書が発せざる得ない何らかの事情があったに違いない。清水の山田孝氏所蔵に次の注意すべき断片書状がある。御馬代金黄金十兩一疋 以上 酒井雅楽頭 酒井氏は「三条市史」によると、城主市橋長勝が没し嗣なきため元和六年三月六日から五月二十七日まで大老職を以て政務を代行して

年代	中蒲原郡誌	新飯田市史	検討
慶長3	新飯田領	同上	同 村上領
15	同上	同上	同 村上領
17	三条城	同上	同 村上領
元和6	同上	同上	同 村上領
寛永11	同上	同上	同 村上領
正保交	同上	同上	同 村上領
慶安2	同上	同上	同 村上領
寛文10	同上	同上	同 村上領
貞享4	同上	同上	同 村上領

いるから、清水(興野)が三条城の管理下に置かれるに至った、あかしではあるまいか。さらに萱場村が関根氏との管掌関係を絶ち沢海藩の管理下に置かれるに至ったと見られる文書が関根家にある。(つづく)



### 松竹梅

めでたい正月ですので、いっぱい飲みながら、こんな歌を歌ってみませんか。

「この床の間 三階小松 小枝小枝に 金がるる へめでためでたやこの家の 松は 枝も来えて葉も繁る これらは盆踊り歌や祝い歌(松坂)の文句ですが、佐渡おけさや花笠音頭で歌っても、よく

調子が合います。 梅になりたや小鉢の梅は 春を待たずに はよ咲いた 梅にうぐいす なせ来てとまる 花が咲きそで かおりする 竹になりたや えびすの釣竿 元はこむ僧の尺八に 数年前 新潟の古道具屋で、墨絵の竹を見つけた。絵の竹が気に入って手に入れたのですが、何やら訳のわからない文句が書いてあり、判読するのに何日もかかりました。 気はながく、勤めは固く 色うすく

食細うして 心ひろがれ 水戸黄門の処生訓だそうぞ、竹はそのとおりでというのでしうか。 見るもよし、手がければなお 改良普及所・井沢文也



市役所正面玄関脇の松の木

## 市民文芸

### 短歌

#### 川柳

戦場に死線を越えて幾度か 今尚生きて迎う元旦 十分に生きたと言ひし母なれど 小川キミイ

陣痛に耐えた女は母となる 内職を見つけて頑張る祖母の部屋 錦鯉にもある美人コンテスト 賞などは持たぬ夫婦の温い部屋 賞一ツ内助の功へ捧げたい 功六級さげる目待つ祖父の胸 階段のスリル這う子が味を知り へんくりの引越しトイレに立つ深夜 おみくじの吉凶出るも運不運 甘納豆食べて夫婦の同じ顔 アバラ骨晒らす男としての意地 やれるぞと己れの限界ためす汗 織田 護

横植の帳げ出でけり大掃除 初孫に晴着買った年市の市 寄鍋や心きたる香のもの 痛みはけて年賀欠礼貰いけり ビニールで鶏舎を覆うて年暮る 泥の手を糞で拭くうて大根引く 冷害と高値でむかえる十二月 ガマの穂や勤勞感謝休耕田 湯あがりや妻の匂わす肝葉 裏れてもこまめに訪問する生計 花嫁と参道踏みしめ初詣 さまざまの落葉歩いて飯場かな 石田 豊一 長井 要平 西山 静江 石田 豊実 田中 昭一 坪川 太郎 牛嶋 七郎 中山 義英 真保 清三 佐野 タケ子 佐藤 勇一郎 須戸 義夫

### 俳句

## 学校めぐり

子供たちの力を 伸ばす「鷲巻タイム」を実施



鷲巻小学校

鷲巻小学校(北上正雄校長 児童数百九十四人)は、大正十二年四月に鷲巻の木小学校と笠巻小学校が統合して開校以来、五十九年の伝統をもつ学校です。 教育目標は、進んで、はげむ、たくましい子とかけ、その目標実現に向けきめ細かな教育指導が行われています。 学校行事として特色のあるのが、ゆとりの時間を活用して月一回行っている「鷲巻タイム」です。教師主導と児童主導の二通りの活動を行って

主専の二通りの活動を行っています。子供たちの力を最大限に発揮させるため、できるだけ子供たちが企画する活動を多く行っています。 今年度はこれまで、お寺の境内やバス停など子供たちがよく利用する場所を清掃する勤勞奉仕、服作り、レクゲーム中心の小運動会などを行いました。これからもカルタ取り大会、すもう大会が計画されています。

昨年八月に行われた市少年野球親善大会で初優勝。「PTA」の協力で荒れたグラウンドの草取りなどをしてもらい、整備されたグラウンドで思う存分練習できたおかげです」と校長先生は話しています。 中庭にあるびわの木は、毎年七月ごろたくさんの実をつけ、最近では、このびわの実を全校で食べることが恒例になっていくそうです。 大鷲小学校の新設で、五十八年三月に閉校となります。